



平成24年度 予算のあらまし

目次

1. 予算規模	1
2. 予算の特徴	
3. 一般会計	2
4. 特別会計	3
5. 一般会計歳入・歳出構成比	
6. 予算額等の推移	5
7. 平成24年度の主要事業	7
8. 太田市の家計簿	
～太田市を一般家庭に例えたら～	9
～他の“まち”との比較～	10

太田市総務部財政課

平成 24年度太田市予算

一般会計当初予算

751億3,000万円（前年度比3.3%減）
総額1,250億8,878万4千円

1. 予算規模

（単位：千円・%）

会計区分	H24 当初予算額	H23 当初予算額	比較
一般会計	75,130,000	77,710,000	▲ 3.3
特別会計（6会計）	36,650,193	34,628,503	5.8
水道事業会計	6,830,206	7,002,918	▲ 2.5
下水道事業等会計	6,478,385	6,565,499	▲ 1.3
合計	125,088,784	125,906,920	▲ 0.6

2. 予算の特徴

平成24年度当初予算は、新生太田総合計画の目指す都市像である「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現に向けて、第6次実施計画を基本に、引き続き学校耐震化事業などの安全・安心なまちづくり事業に取り組むとともに、沢野小の増改築事業や新市民会館の建設事業など、懸案であった主要事業に取り組むための予算としました。

財源については、年少扶養控除の廃止に伴う個人市民税の増収を見込む一方で、法人市民税の減収及び固定資産税の減収という厳しい状況のなか、増加する行政需要に応えるため、財政調整基金からの繰入金、臨時財政対策債の発行等のほか、国・県補助金等の確保にも努めました。

①安全安心事業への重点配分

- ・小中学校施設の耐震化事業の継続実施、救急医療対策（市内指定救急病院に対する運営費及び施設整備事業への補助）、消防車両等の整備

②教育文化環境の整備充実に向けた取り組み

- ・沢野小学校の増改築事業、併設中学校（太田中学校）新設事業と学校運営、新市民会館建設事業

③少子化対策等政策課題への取り組み

- ・第3子以降子育て支援事業

④「市民満足度調査結果」の予算への反映

- ・医療体制や健康づくり施策の充実などへの重点配分

⑤枠配分方式による予算編成及び事務事業の見直しによる歳出削減

- ・省エネルギー活動の継続による光熱水費の節減、旧公民館建物等の解体撤去に伴う維持経費の節減

⑥国及び県の施策に対応した予算編成

- ・子どものための手当関連事業、予防接種事業（子宮頸がんワクチン等）や妊婦健診事業の継続実施、緊急雇用創出事業



3. 一般会計

【歳入】

(単位：千円・%)

区 分	H24 当初予算額	H23 当初予算額	比 較
市税	33,527,234	34,075,804	▲ 1.6
地方譲与税	860,001	860,001	0.0
地方消費税交付金	2,170,000	2,170,000	0.0
地方交付税	4,200,000	3,200,000	31.3
国庫支出金	8,554,950	9,979,800	▲ 14.3
県支出金	6,102,021	6,567,819	▲ 7.1
繰入金	1,932,348	1,186,855	62.8
うち財政調整基金	1,500,000	940,464	59.5
市債	7,756,400	8,845,400	▲ 12.3
うち通常債	4,235,400	5,281,400	▲ 19.8
うち臨時財政対策債	3,521,000	3,564,000	▲ 1.2
その他	10,027,046	10,824,321	▲ 7.4
合 計	75,130,000	77,710,000	▲ 3.3

※通常債とは、建設事業に充てる地方債を意味します。

【歳出】

(単位：千円・%)

区 分	H24 当初予算額	H23 当初予算額	比 較
議会費	531,345	607,579	▲ 12.5
総務費	8,870,782	8,559,125	3.6
民生費	25,028,205	25,574,912	▲ 2.1
衛生費	5,222,296	7,487,756	▲ 30.3
労働費	365,961	553,628	▲ 33.9
農林水産業費	1,390,225	2,077,107	▲ 33.1
商工費	4,188,886	4,373,338	▲ 4.2
土木費	6,587,056	6,868,196	▲ 4.1
消防費	3,401,442	3,566,290	▲ 4.6
教育費	10,853,348	10,244,957	5.9
公債費	8,568,780	7,661,048	11.8
うち通常債元金	6,188,901	5,421,941	14.1
うち臨時財政対策債元金	1,078,001	904,304	19.2
その他	121,674	136,064	▲ 10.6
合 計	75,130,000	77,710,000	▲ 3.3

4. 特別会計

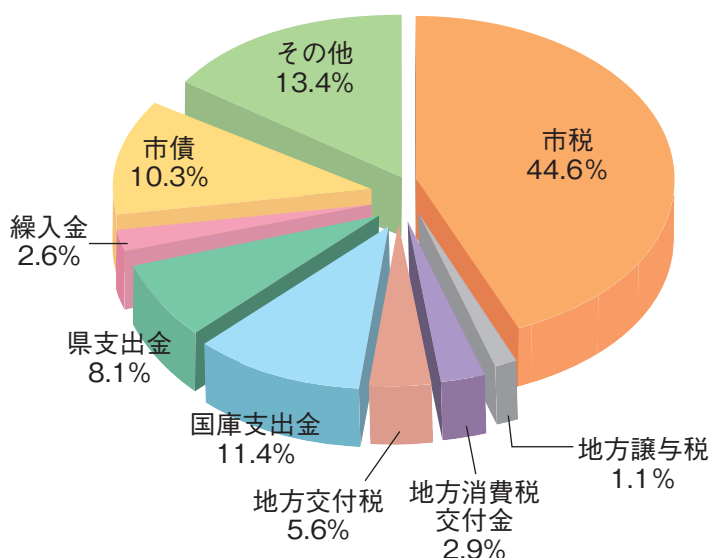
(単位：千円・%)

区 分	H24 当初予算額	H23 当初予算額	比 較
国民健康保険	22,163,530	22,072,211	0.4
住宅新築資金等貸付	32,403	31,726	2.1
後期高齢者医療	1,740,664	1,540,842	13.0
八王子山墓園	43,665	53,343	▲ 18.1
介護保険	12,129,733	10,636,426	14.0
藪塚本町介護老人保健施設	540,198	293,955	83.8
合 計	36,650,193	34,628,503	5.8

5. 一般会計歳入・歳出構成比

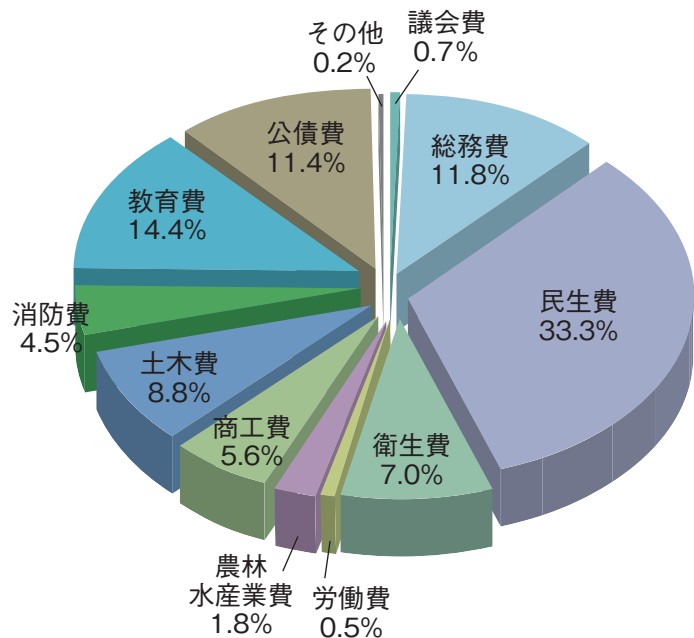
① 歳入

	(千円)
市税	33,527,234
地方譲与税	860,001
地方消費税交付金	2,170,000
地方交付税	4,200,000
国庫支出金	8,554,950
県支出金	6,102,021
繰入金	1,932,348
市債	7,756,400
その他	10,027,046
合 計	75,130,000



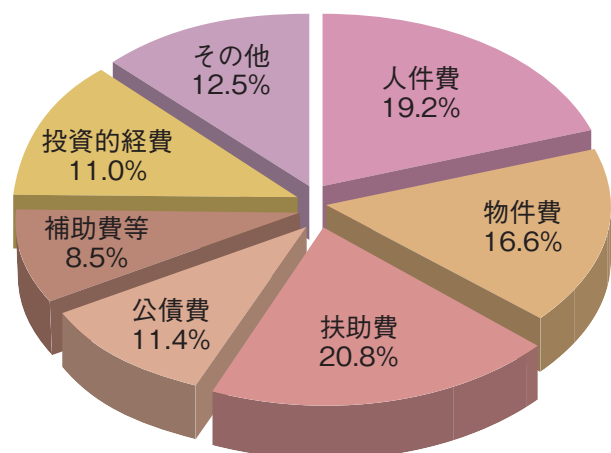
② 歳出 [目的別]

	(千円)
議会費	531,345
総務費	8,870,782
民生費	25,028,205
衛生費	5,222,296
労働費	365,961
農林水産業費	1,390,225
商工費	4,188,886
土木費	6,587,056
消防費	3,401,442
教育費	10,853,348
公債費	8,568,780
その他	121,674
合 計	75,130,000



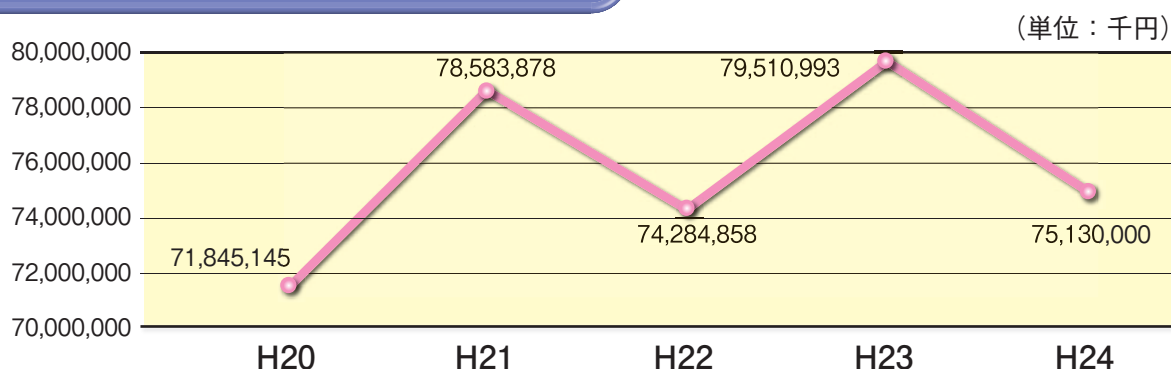
③ 歳出 [性質別]

	(千円)
人件費	14,414,687
物件費	12,469,984
扶助費	15,629,542
公債費	8,567,701
補助費等	6,359,527
投資的経費	8,283,223
その他	9,405,336
合 計	75,130,000



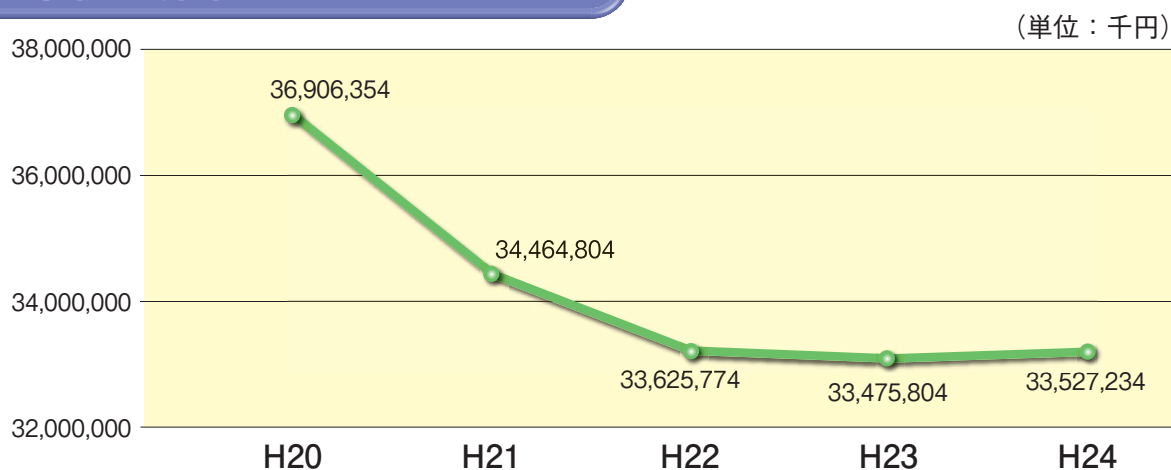
6. 予算額等の推移

① 歳出額（一般会計）の推移



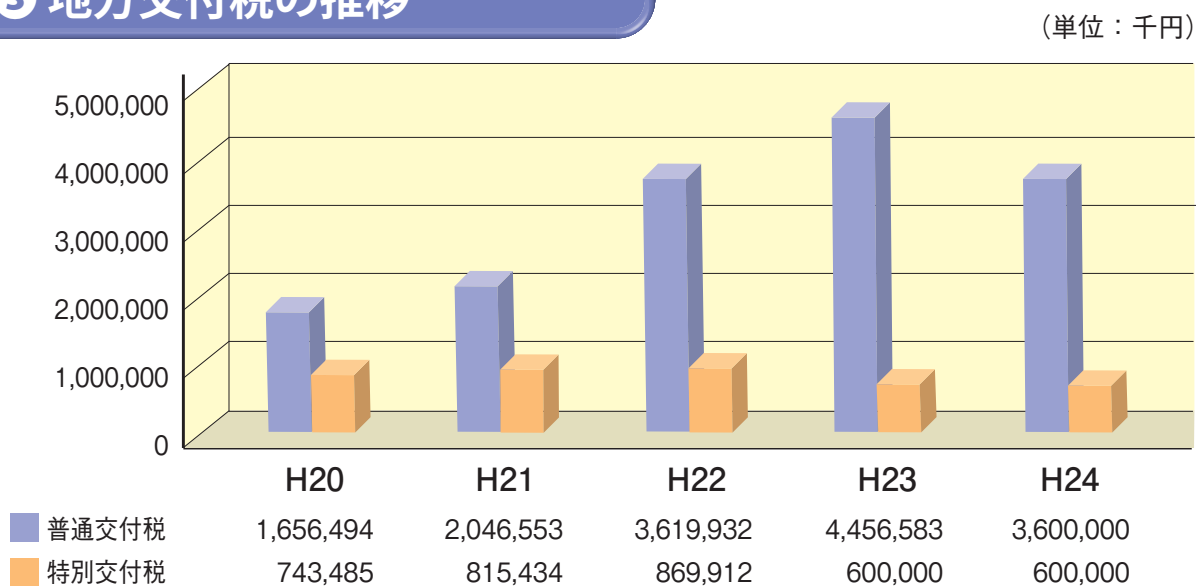
※ H20 年度から H22 年度は決算額、H23 年度は 3 月補正後予算額、H24 年度は当初予算額

② 市税の推移



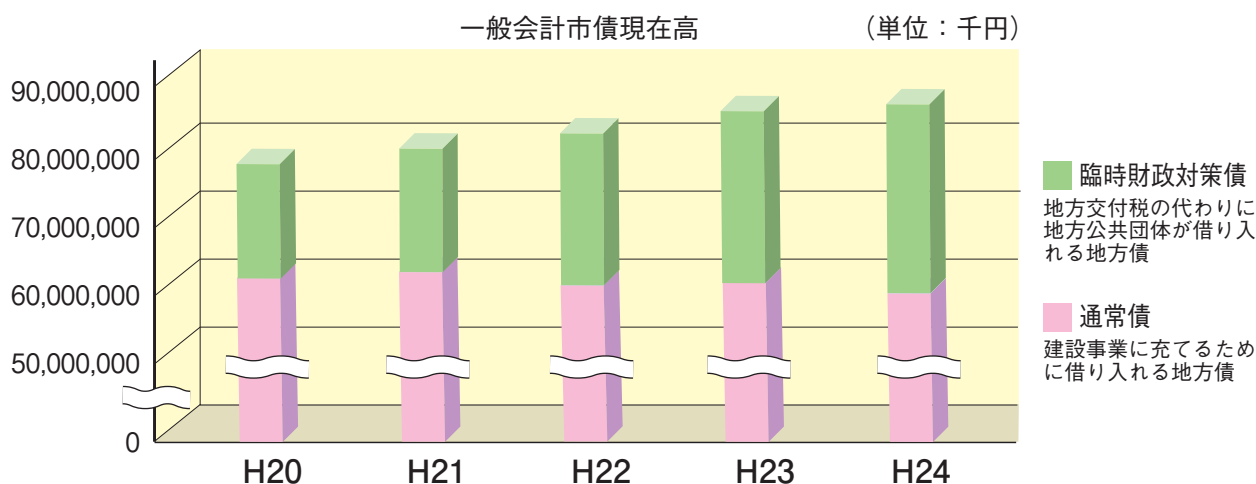
※ H20 年度から H22 年度は決算額、H23 年度は 3 月補正後予算額、H24 年度は当初予算額

③ 地方交付税の推移



※ H20 年度から H22 年度は決算額、H23 年度は 3 月補正後予算額、H24 年度は当初予算額

④ 市債現在高等の推移



区 分	H20	H21	H22	H23	H24
一般会計	76,270,507	78,830,912	80,542,985	83,605,125	84,094,623
うち通常債	59,829,504	60,349,519	58,172,047	58,630,382	56,676,881
うち臨時財政対策債	16,441,003	18,481,393	22,370,938	24,974,743	27,417,742
水道事業会計	20,394,308	20,516,595	19,707,886	18,731,848	18,092,347
下水道事業等会計	33,382,218	33,301,594	32,777,811	32,372,419	32,075,353
特別会計	663,915	583,118	505,063	344,979	307,506
土地開発公社長期借入金	3,451,348	2,767,803	2,214,137	2,031,688	2,158,249
合 計	134,162,296	136,000,022	135,747,882	137,086,059	136,728,078

※H20年度からH22年度は決算額、H23年度は3月補正後予算額、H24年度は当初予算額

※特別会計は、住宅新築資金等貸付、八王子山墓園、藪塚本町介護老人保健施設の合計

⑤ 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準（赤信号）」、「早期健全化基準（黄信号）」を下回っており、なおかつ、数値も改善されています。

区 分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	—	11.39%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	16.39%	40.0%
③実質公債費比率	11.5%	10.5%	9.9%	9.4%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	123.0%	115.7%	112.3%	104.7%	350.0%	—

①実質赤字比率 自治体のメインの会計である一般会計等の実質収支の赤字額が標準財政規模（地方税や地方交付税等の使い道の定められていない財源の大きさのことです。）に占める割合を指しています。

②連結実質赤字比率 自治体の全会計（＝企業会計等を含む）の赤字・黒字を合算した結果赤字があった場合に、その額が標準財政規模に占める割合を指しています。

③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの借金返済額（企業会計等＋一部事務組合等の分を含む）が標準財政規模に占める割合を指しており、実質的な借金返済負担の重さを示します。

④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債（＝企業会計等＋一部事務組合等＋地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを指しています。

7. 平成24年度の主要事業

◎ 懸案事項の実現に向けて

	(単位：千円)
①新市民会館建設事業（設計）	56,760
②併設中学校新設事業（太田中学校の校舎建設など）	923,800
③(仮称) 太田市保健センター建設事業	267,843
④おおたメガソーラー事業	41,465
⑤沢野小学校校舎等増改築事業	673,694



① 教育文化の向上

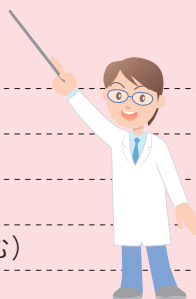
	(単位：千円)
①学校施設耐震化事業（耐震補強など）	766,330
②第3子以降子育て支援事業	217,481
③大隅俊平記念美術館管理運営費	11,207
④(仮称) 中島知久平記念地域交流センター整備事業	119,500
⑤おおたん教育支援隊・個別指導事業	101,405



※②の事業には、保育料無料化による歳入の減免分 137,902 千円が含まれています。

② 福祉健康の増進

	(単位：千円)
①子どものための手当（子ども手当含む）	4,339,316
②救急病院等整備費補助金	98,454
③東日本大震災避難者受入用民間アパート等借上事業	24,920
④予防接種事業（子宮頸がんなどのワクチン接種分を含む）	488,480
⑤市民健康診断事業（各種がん検診など）	388,701
⑥放課後児童クラブ室施設整備事業（強戸小第2、毛里田小、沢野中央小第2）	72,000



③ 生活環境の整備

	(単位：千円)
①デマンドバス運行委託事業	32,740
②ごみ処理施設整備事業（清掃センターの改修工事など）	122,010
③道路維持補修事業（補修工事）	143,583
④河川新設改良事業（幹線水路の整備工事）	205,000
⑤(仮称) 沢野分署建設事業	90,228
⑥消防救助工作車・消防団用ポンプ自動車整備事業	180,000



④ 産業経済の振興

(単位：千円)

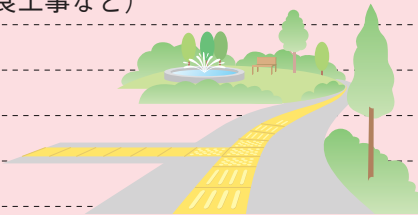
①農地集積事業推進支援金、農地集積協力金	6,500
②県営ため池危機管理対策事業（湯の入地区）	11,500
③ねぶた保管庫建設事業	55,000
④太田さくら工業団地法面用地取得助成金	20,077
⑤中心市街地活性化拠点施設整備事業	10,000
⑥制度融資資金貸付事業（経営安定資金融資貸付金など）	3,434,601



⑤ 都市基盤の整備

(単位：千円)

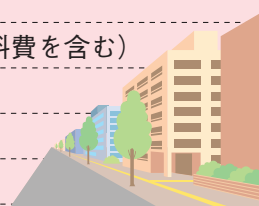
①受託街路事業（国道 354 号バイパスの用地購入など）	505,244
②道路新設改良事業（陳情対応の道路改良工事など）	190,000
③北関東自動車道側道建設事業	115,179
④（仮称）南矢島中央公園整備事業	20,000
⑤台之郷平地林公園整備事業	34,911
⑥利根川河川尾島平地林環境整備事業	6,000



⑥ 行財政の推進

(単位：千円)

①沢野行政センター建設事業	365,000
②1%まちづくり事業（地域生活環境整備工事費、原材料費を含む）	150,000
③地区集会所新增築等補助金	7,690
④尾島庁舎設備改修事業	100,000
⑤太田市 PR 誌作成・デジタルアーカイブ構築事業	2,950

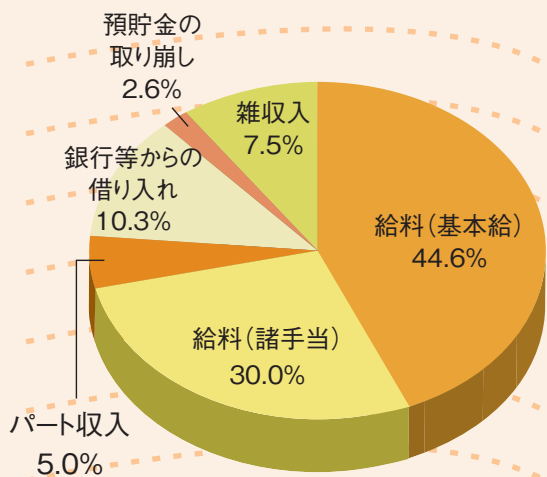


8. 太田市の家計簿 ～太田市を一般家庭に例えたら～

太田市の平成24年度一般会計予算を身近に感じていただけるように、「太田市の家計簿（市民一人あたり）」に例えてお知らせします。

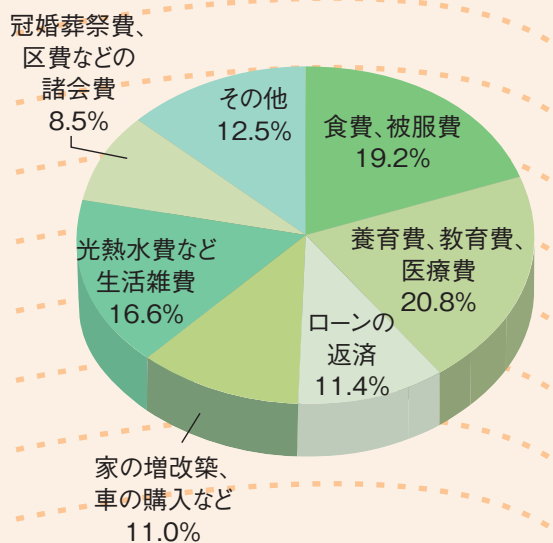
平成24年度当初予算額751億3千万円を人口220,236人（H24.1月末現在）で割ると1ヶ月341,134円の家計でやりくりする家庭に例えることができます。

収入



家計		予算上の名称
項目	金額	
給料(基本給)	152,233円	市税
給料(諸手当)	102,494円	国・県支出金、地方交付税、各種交付金 など
パート収入	16,958円	分担金・負担金や使用料・手数料
銀行等からの借り入れ	35,219円	市債
預貯金の取り崩し	8,774円	繰入金
雑収入	25,456円	諸収入など
収入合計	341,134円	

支出



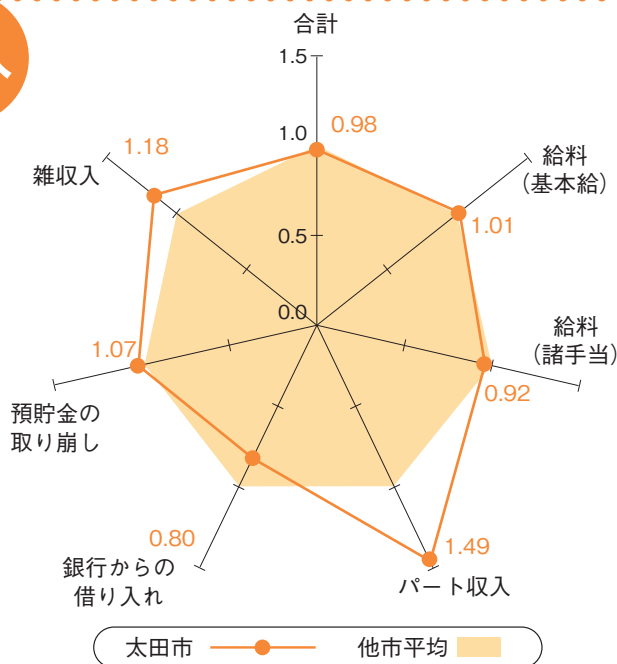
家計		予算上の名称
項目	金額	
食費、被服費	65,451円	人件費
養育費、教育費、医療費	70,967円	扶助費
ローンの返済	38,902円	公債費
家の増改築、車の購入など	37,611円	投資的経費
光熱水費など生活雑費	56,621円	物件費
冠婚葬祭費、区費などの諸会費	28,876円	補助費等
その他	42,706円	貸付金、繰出金、維持補修費など
支出合計	341,134円	

～ 他の“まち”との比較 ～

太田市の家計を、家族構成（人口）や職業（産業構造）が似ている全国10市（特例市）の平均値とで比較してみました。

収入支出の各項目とも、市民一人あたり予算額の他市平均値を全て1とし、それに対する太田市の予算額の位置を割合で示しています。

収入



収入の主な特徴

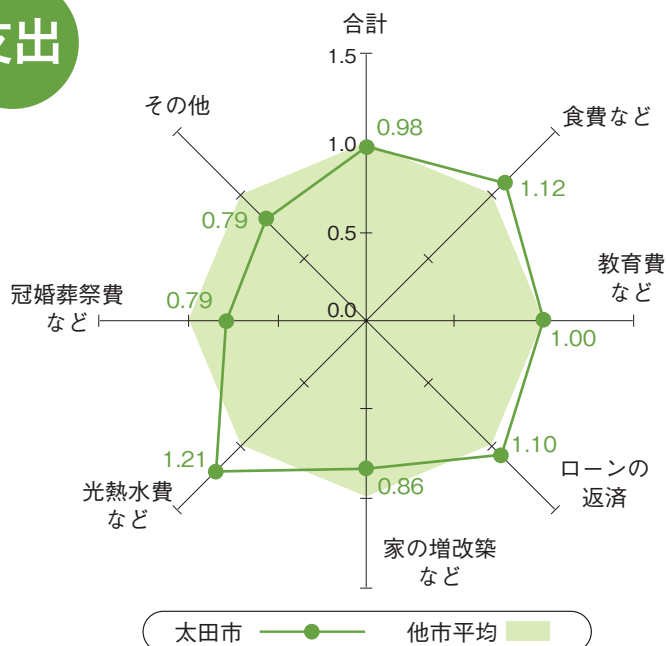
家計の規模で比較すると、他市の平均が346,370円ですので、太田市が5,236円ほど下回っています。

収入の柱となる「給料(基本給)」や「給料(諸手当)」では、他市とほぼ同一水準となっています。

また、「銀行からの借り入れ」を少なくし、預貯金の取り崩しを活用することで、家の増改築などが滞らないようにしながら、借り入れ残高を増やさないよう努めています。

なお、「パート収入」で太田市が上回っているのは、他市にはあまり例がない、消防事務の委託に係る負担金収入等があることによるものです。

支出



支出の主な特徴

「食費など」、「教育費など」及び「ローンの返済」の3項目の合計(義務的経費)が家計に占める割合は、他市平均の47.6%(164,871円)に対し、太田市が51.4%(175,320円)と、少し高水準となっています。

一方、「家の増改築など」や「冠婚葬祭費など」では、太田市が下回っていますので、節約(行財政改革)に努めることで、今後とも安定した家計を維持していきます。

なお、「その他」で太田市が下回っているのは、繰出金の占める要素が大きく、他市では公立病院を保有している市もあり、その特別会計に対する繰出金が多額になっていることによるものです。

※比較に用いた10市：伊勢崎市（群馬県）・平塚市（神奈川県）・上越市（新潟県）・沼津市（静岡県）・富士市（静岡県）・春日井市（愛知県）・一宮市（愛知県）・四日市市（三重県）・八尾市（大阪府）・加古川市（兵庫県）



この印刷物は、古紙パルプ配合の再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しております。

